

新しい幸せを、わかすこと。



2019年12月期 第1四半期 決算説明資料

2019.5.14

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

2019年12月期 第1四半期決算概要

■ 国内温水空調分野の著しい需要減により、減収減益

2019年1期（1－3月）状況

■ 国内：温水需要の大幅減少が影響し、減収減益

■ 海外：中国市況停滞とM&Aの一時費用により、減収減益

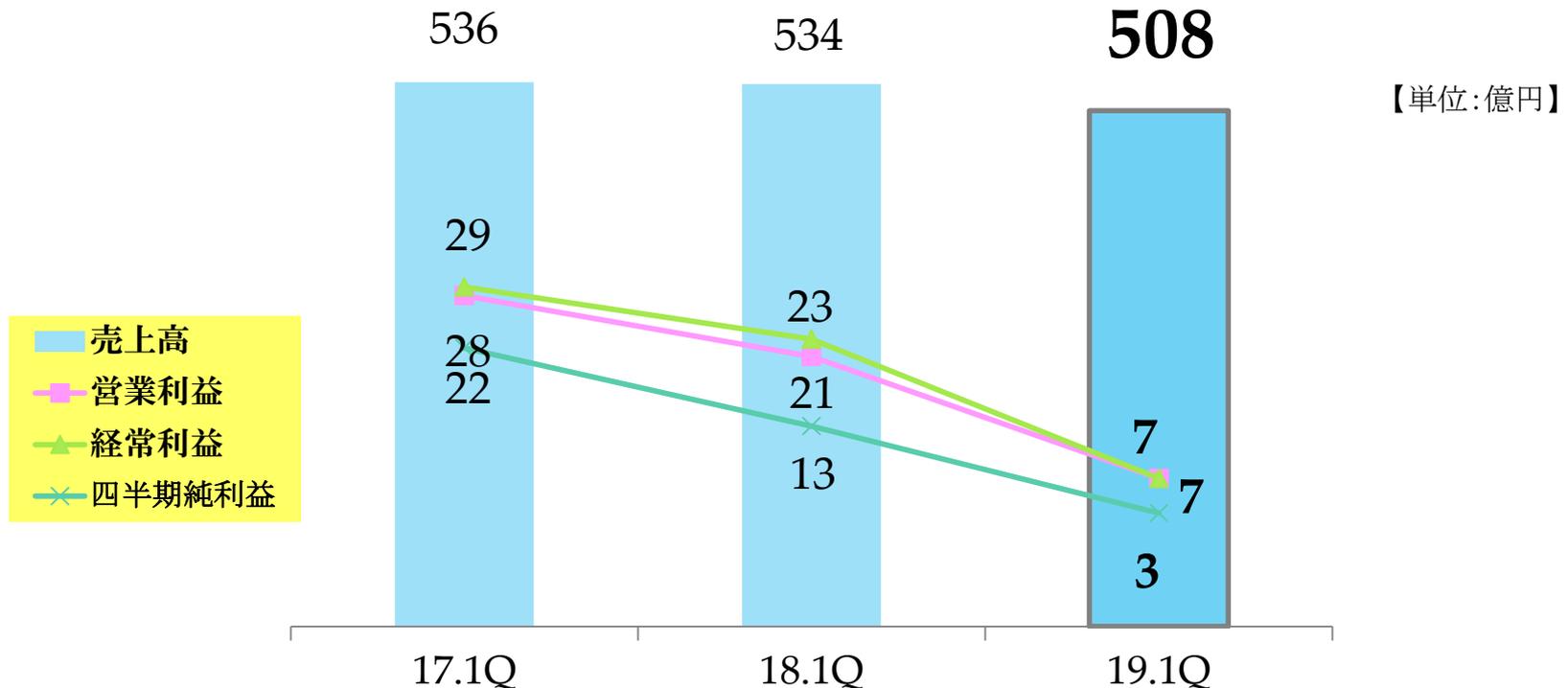
2019年12月期 第2四半期累計計画

■ 売上高：1,005億円、営業利益：7億円

経常利益：10億円、親会社株主に帰属する当期純利益：5億円

2019年12月期 第1四半期 経営成績

- 売上高：508億円（5.0%減）
- 営業利益：7億円（66.1%減）
- 経常利益：7億円（65.9%減）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：3億円（76.0%減）
- ROE：1.2%



※平均為替レート 1ドル:110.3円/ 1元:16.45円/ 1ASドル:78.99円 ROEは年換算

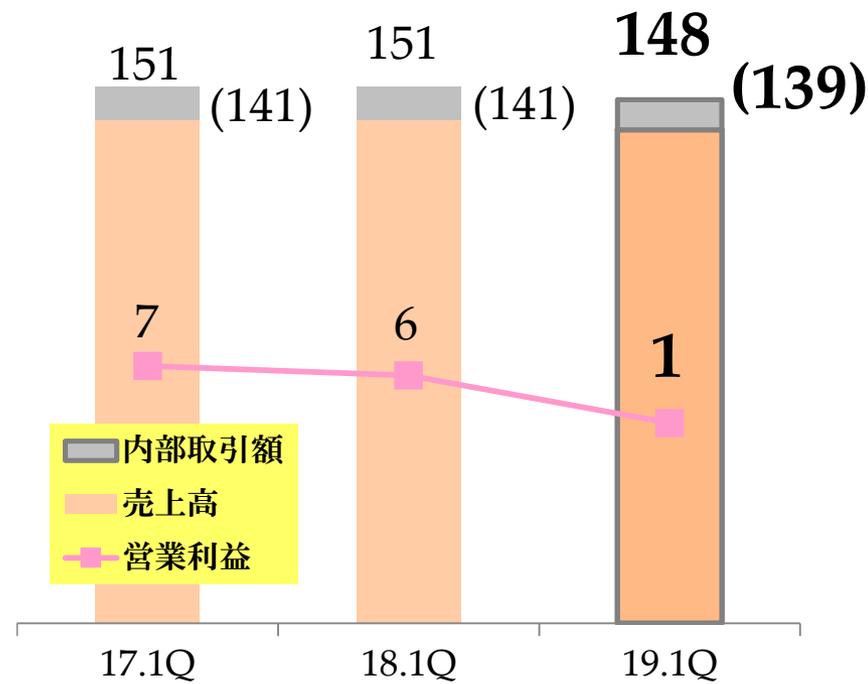
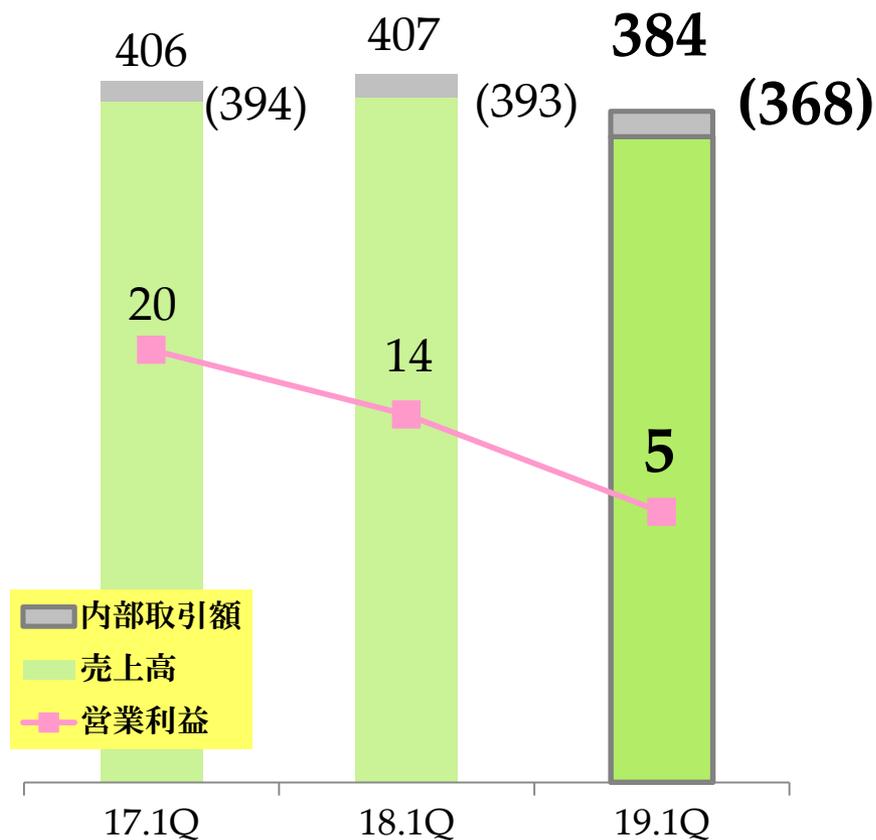
2019年12月期 第1四半期 経営成績 セグメント



■国内事業

■海外事業

【単位:億円】



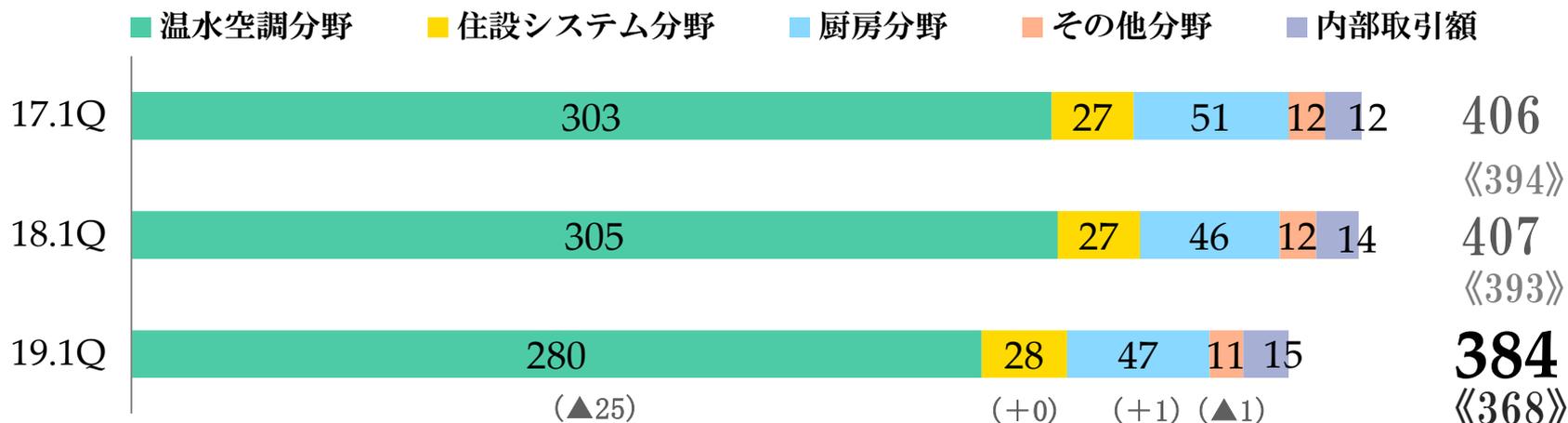
()内は内部取引額を除く

2019年12月期 第1四半期 経営成績

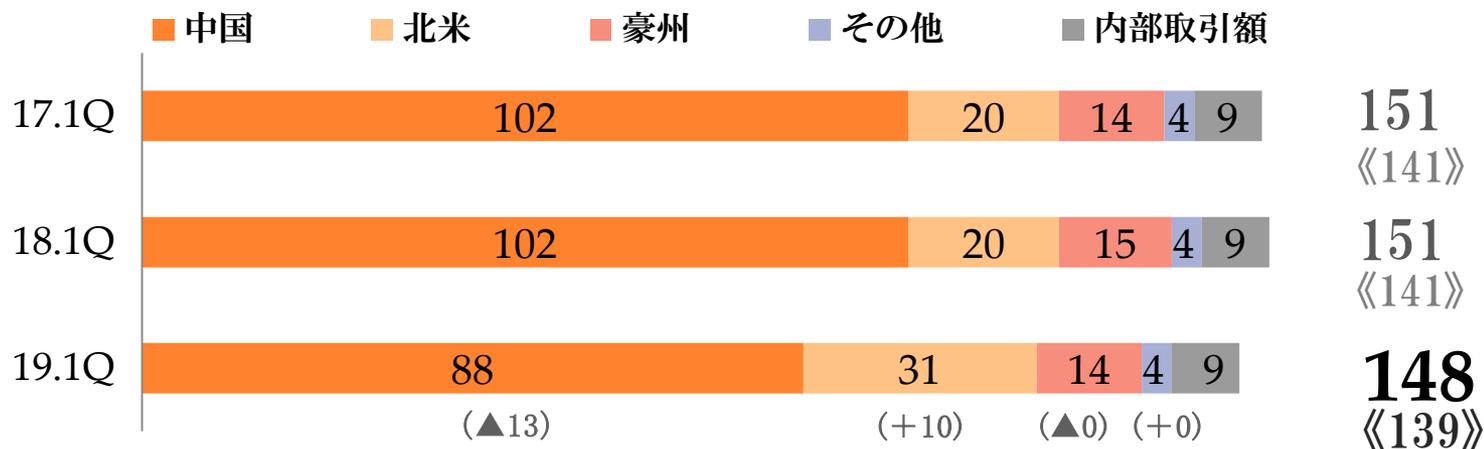


国内事業

【単位:億円】



海外事業



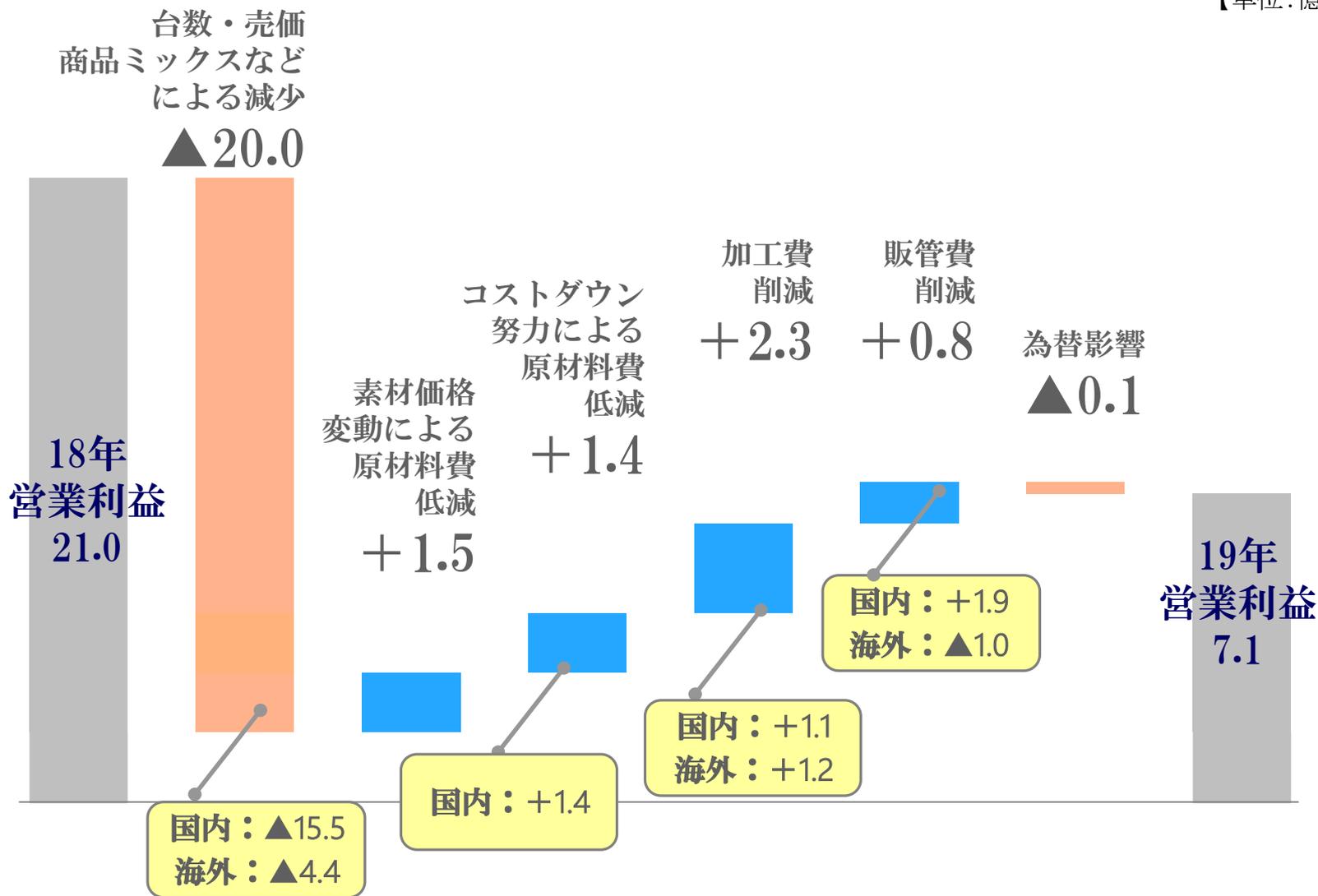
19.1Qは、北米にPBH社の売上高9億円を含む

《 》内は内部取引額を除く

2019年12月期 第1四半期 営業利益減益要因



【単位:億円】



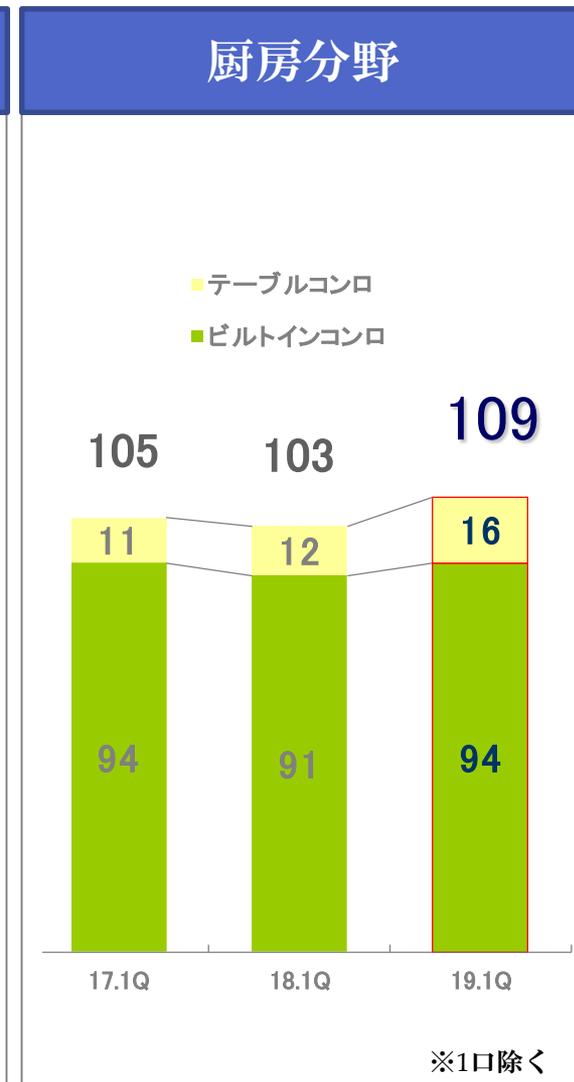
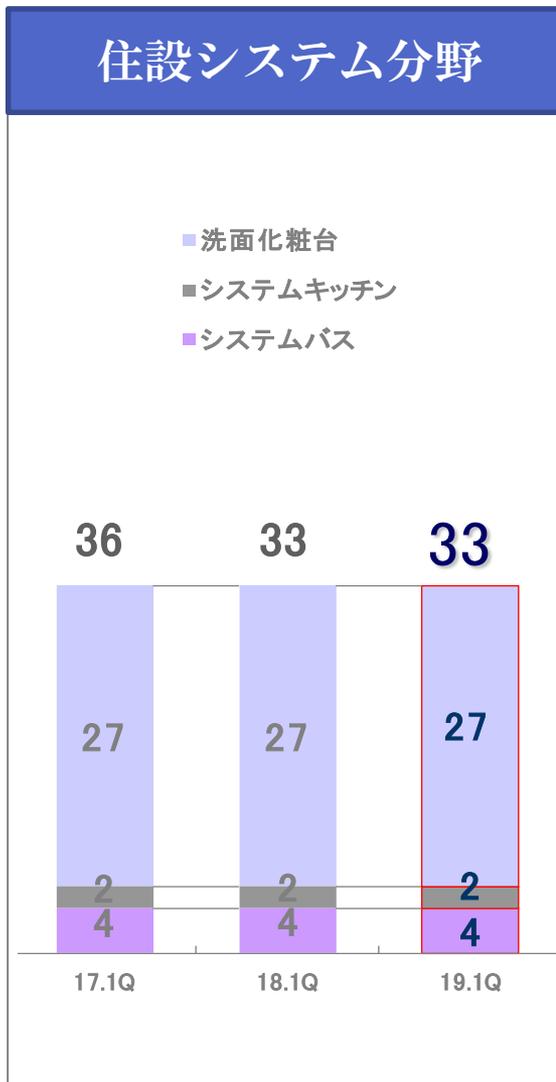
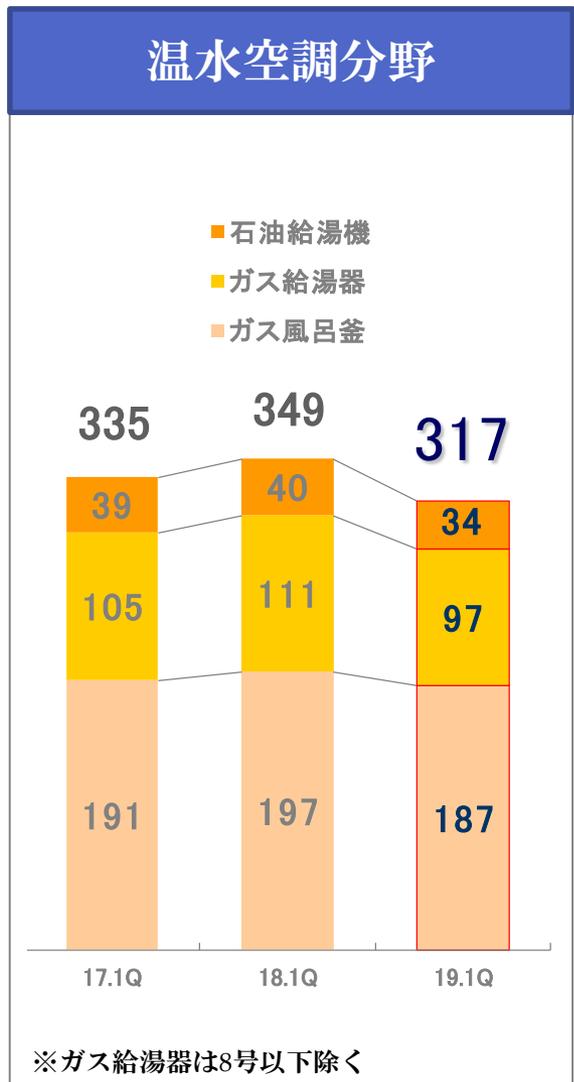
2019年12月期 第1四半期 国内事業 営業利益 減益要因

(単位) 億円	前年比	備考
内部要因	+4.5	コスト低減 <ul style="list-style-type: none"> ■ 販管費削減 +1.9億円 ■ コストダウン努力による 原材料費低減 +1.4億円 ■ 加工費削減 +1.1億円
		外部要因 <ul style="list-style-type: none"> ▲ 14
外部要因	▲14	需要影響 <ul style="list-style-type: none"> ■ 温水機器需要減少に伴う販売 台数減少など ▲15.5億円
		素材価格 変動の影響 <ul style="list-style-type: none"> ■ 銅など素材価格 +1.5億円 前年@816円/期→当年@720円/期

2019年12月期 第1四半期 海外事業 営業利益 減益要因

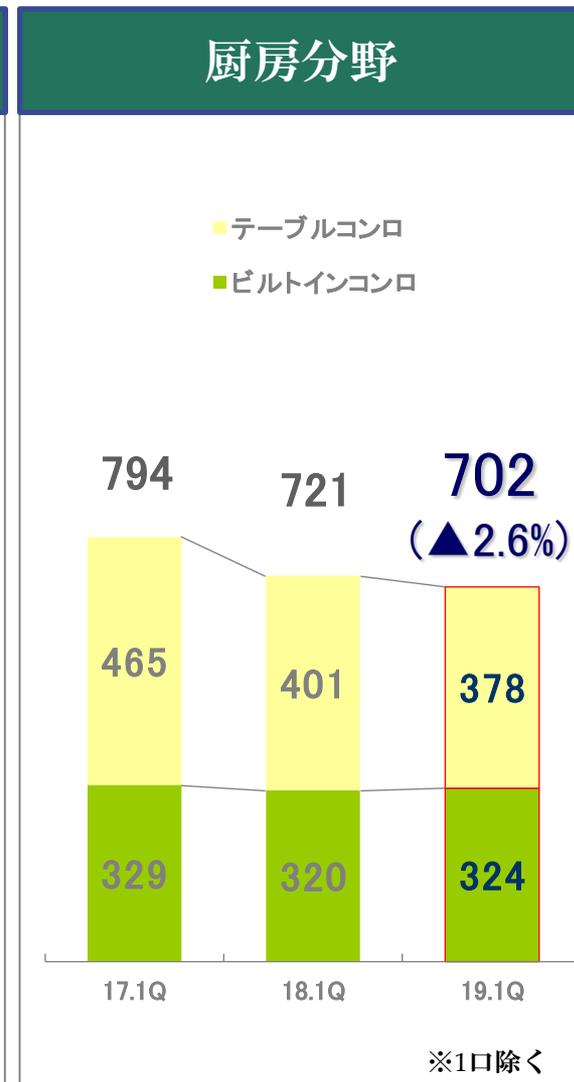
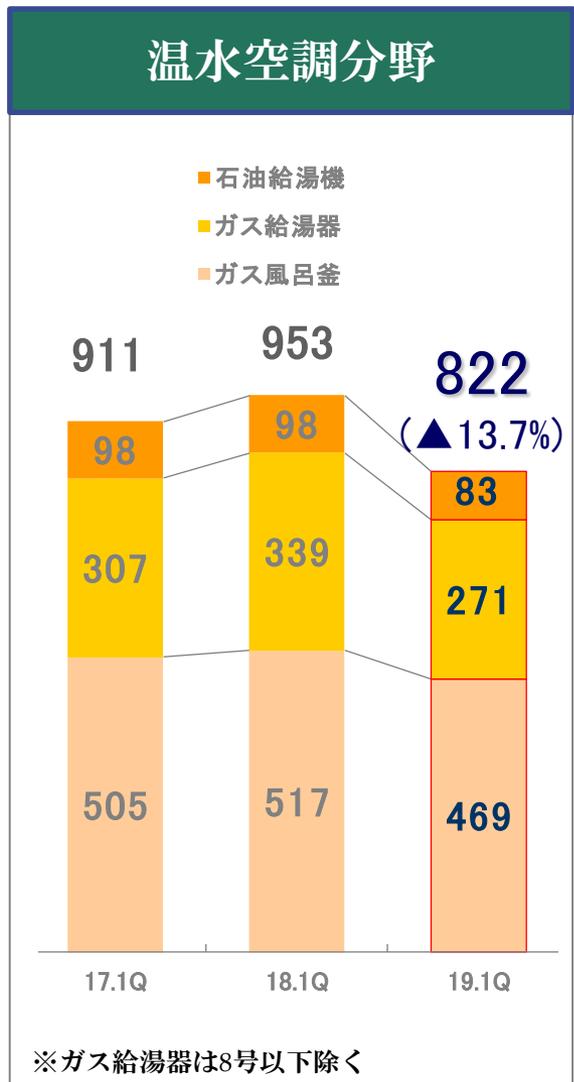
(単位) 億円	営業利益 (前年比)	備考	
中国	3.4 (▲2.9)	中国経済	■貿易摩擦の影響による市況停滞
北米	0.4 (▲0.0)	販売強化	■タンクレス拡販 ■業務用商材拡販
		成長投資 PBH社	■新規連結効果 +1.3億円 のれん償却費 ▲1.1億円
豪州	0.1 (+0.1)	収益向上	■タンクレス・業務用商材拡販 ■品質改善、原価低減
他	▲2.3 (▲1.5)	他	■M&A費用 ▲1.7億円

【単位:千台】



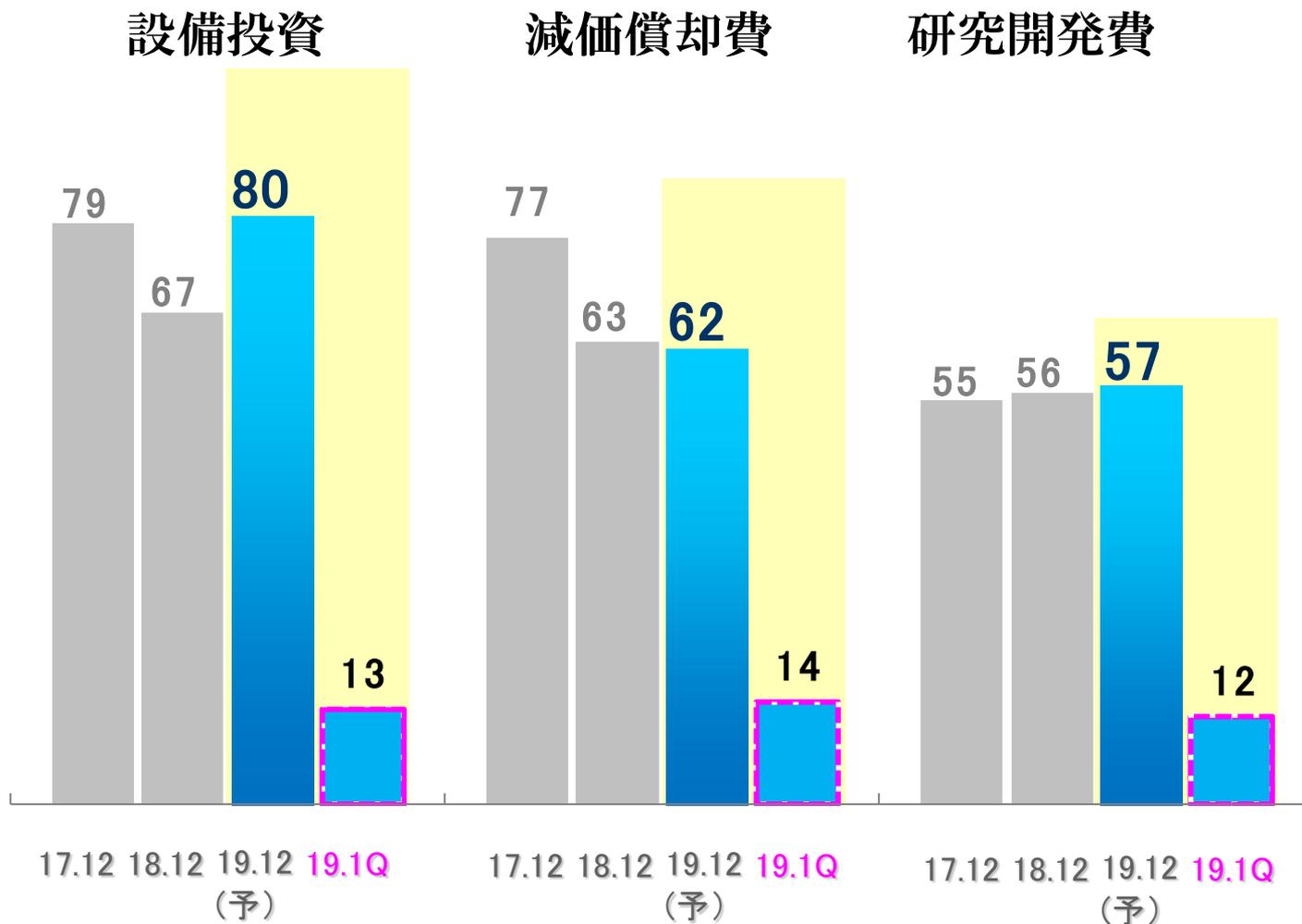
2019年12月期 第1四半期 国内事業 主要品群 需要実績

【単位:千台】



2019年 設備投資・減価償却費・研究開発費

【単位:億円】



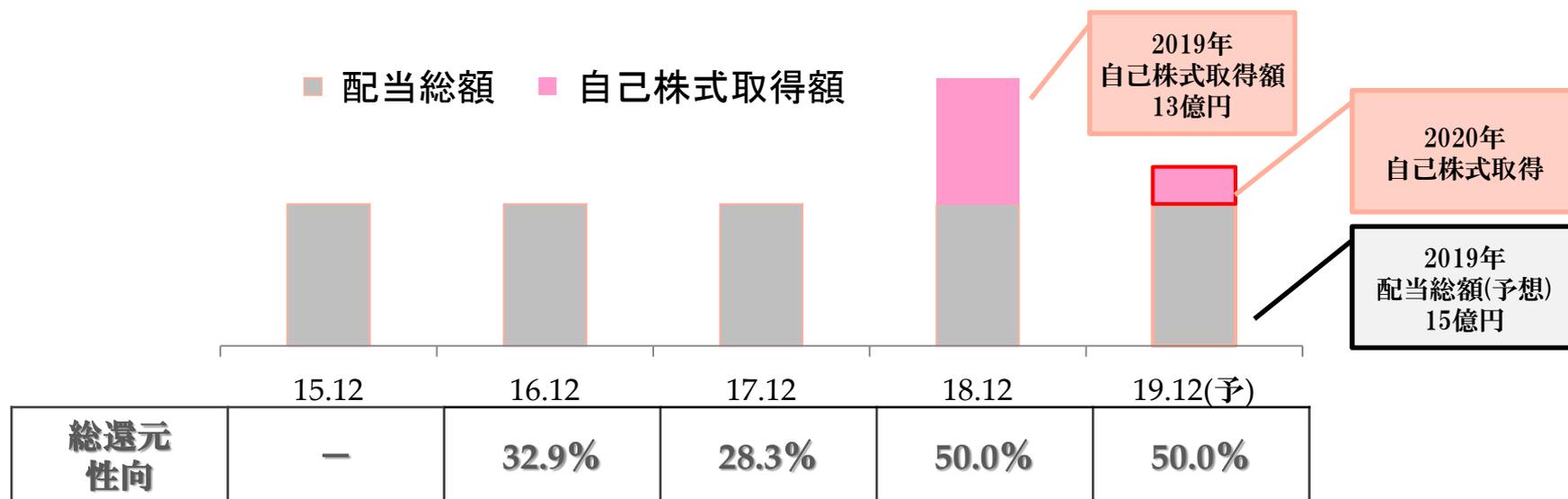
※減価償却費はのれん、商標権、顧客関連資産の償却費除く

成長投資と株主還元

キャッシュフローと手元資金を成長投資・株主還元を活用していく

- 成長投資（M&A、設備投資、研究開発）
- 株主還元

2019年12月期は、一株当たりの配当金を年間32円(予想)
自己株式取得も含め総還元性向 50%



新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて
暮らしの感動をお届けするノーリツグループ

IRに関するお問い合わせ先
株式会社ノーリツ 経営管理本部
コーポレートコミュニケーション部
TEL: 078-334-2801
<https://www.noritz.co.jp/company/ir/>